愛知県医療法人協会報

No. 266

令和6年10月31日発行

〈春日井整形あさひ病院〉

会員紹介　P. 32掲載

CONTENTS

巻頭言　日本の病院医療の今後と医政活動　太田圭洋…… 1
寄　稿　衆議院選挙と社会保障改革の行方　木村　衛…… 2
寄　稿　アイルランド・イギリスの医療制度に触れて　田中　毅…… 3
寄　稿　防災対策について　丹羽孝司…… 5
寄　稿　法人理念「優しい医療・楽しい職場」を求めて　壱岐　円…… 7
寄　稿　ただの不注意と言えばそれまで「あたり前の気づき」　桐山順三 …… 9
寄　稿　病院機能が変わる！看護部も頑張っています。　清水輝子…… 11
寄　稿　素敵な趣味との出会いに感謝　阪口浩美…… 13
報　告　第２回拡大理事会　議事録…… 15
報　告　第４回拡大常任理事会　議事録…… 20
報　告　第１回事務部会研修会　金田修一…… 23
報　告　第１回看護管理者育成研修会　原田あや子…… 26
報　告　第２回看護管理者育成研修会　鈴木久美子…… 28
報　告　第３回看護管理者育成研修会　海川みすず…… 30
会員紹介　春日井整形あさひ病院…… 32
編集後記…… 33
研修会案内　第１回QOL研修会 …… 34

巻頭言

日本の病院医療の今後と医政活動

協会　副会長
社会医療法人名古屋記念財団
理事長　太田圭洋

この巻頭言を書いている 10 月 1 日、石破　茂氏が第 102 代の内閣総理大臣に指名された。総裁選で高市氏との決選投票で競り勝っての新総理誕生であるが、総裁選当日、外国為替が大幅に円高に振れるのと同時に日経先物が 2,000 円以上値下がりした。

これは、今後の政権運営においてどこまで金融緩和を続けるかのスタンスの違いを市場関係者が敏感に感じ取ってのことであるが、政治家、特にさまざま政策に決定権限のある人の考えが、大きな影響を経済、社会に与えていくことを示している。

私は昨年 11 月に中医協委員を拝命し令和 6 年改定の議論に直接参加してきた。病院医療をまじめにやっていれば普通に病院運営できるようなまともな点数を設定すべきだと病院経営に関わることになった時から長年ずっと思ってきた。さまざまな人からの後押しもあり中医協委員までやらせていただくことになったわけだが、今回の改定で病院経営環境はさらに悪化することとなってしまった。最近、医療系のニュースでは、いくつもの民間病院の破綻や公立病院の赤字、資金不足などが報道されている。日本医療法人協会が日本病院会、全日本病院協会と合同で行っている病院経営定期調査の中間報告も 9 月に出されたが、コロナ補助金が減額されたもののまだ入っている 2023 年度決算で、回答病院の経常利益率は-1.2%と非常に厳しい現状が明らかになった。2024 年度はそれより悪化する可能性が高い。

中医協委員になってさまざまな議論で戦ったものの、日本の医療が改定率を決定する段階で医療費総額を決められてしまっている現状では、中医協で十分な点数設定などできないという冷酷な現実を直視せざるをえない結果となった。今改定は、長らく続いたデフレ局面から物価の上昇局面に転換したフェーズであったにもかかわらず、今まで続いてきた社会保障費の増加を高齢化の伸びを上限に抑えるという政府方針を医療界は突破することができず 0.88%の本体改定率を政治に決められることとなった。これは実質的には大幅なマイナス改定である。

以前から偉い先生方が、頑張って政治家と付き合っているのを見て「政治が好きなんだなあ」と呑気に思っていたが、医療に関して多くのことが政治で決まっている現実を間近に見ることになり医政活動の重要性を痛感した次第である。次回の改定までに、政治に医療費の上限キャップを緩めてもらえなければ、中医協でどれだけ理詰めで議論しようが、我々民間病院の窮状は変わらないということである。これから衆議院選挙、来年は参議院選挙も予定されている。我々は自分の患者を守るため、自分の病院を守るためにも積極的に政治に関与していく必要がある。

寄稿

衆議院選挙と社会保障改革の行方

協会　理事
医療法人桂名会　木村病院
理事長　木村　衛

石破　茂内閣は 10 月 9 日、衆議院を解散し、15 日公示・27 日投開票の日程で総選挙が行われます。この選挙結果が社会保障制度にどのような影響を与えるのでしょうか。結果次第では、政治に大きな変化が生じる可能性があります。もし自民党が勝利すれば、国民の信任を得たことになり、社会保障改革が一気に進むかもしれません。岸田政権が掲げた「骨太の方針 2024」では、少子化対策や高齢化対応のため、税と社会保障の一体改革が強調されています。特に「応能負担」や、年金・医療・介護制度の見直しが進められる予定です。応能負担とは、所得に応じた負担を求める制度であり、社会保障制度における公平性を確保するために重要な仕組みです。高所得者に対しては負担を増やし、低所得者には負担軽減を図る一方で、高齢者層への負担増も検討されています。ただし、こうした改革には痛みを伴います。診療報酬改定による病院経営の悪化が既に現れているように、医療機関への影響は避けられません。与党が大きく過半数を確保すれば、応能負担の徹底を含む社会保障改革が加速するでしょう。しかし、野党が勢力を伸ばせば、こうした改革は後回しにされる可能性があります。そうなれば、社会保障制度の持続性に対する問題は先送りされることになります。

医療や介護制度も、今回の選挙で重要な争点です。高齢化が進む中、介護費や医療費の増大が国家財政を圧迫しており、制度の効率化が急務とされています。「骨太の方針 2024」では、医療提供体制の効率化や介護費用の見直しが求められています。与党が安定した議席を確保すれば、これらの施策が進み、患者負担の見直しや、かかりつけ医機能が強化されます。病院経営の悪化が、医療機関の統合や病床数の再編をもたらすことになり、社会保障費の抑制だけで済むのか、医療難民が増える可能性もあります。

与党が大勝すれば、岸田政権が掲げる社会保障改革が進展し、医療や介護制度の効率化が進むと見られます。その結果、社会保障費の増加を抑制する一方で、医療機関はさらに厳しい環境に直面するでしょう。一方、野党が台頭すれば、改革は段階的に進められる可能性があり、抜本的な改革は見送られるか、国民に負担を感じさせにくい形で進むかもしれません。今後の社会保障改革の行方は、選挙結果次第で大きく変わることが予想されます。特に病院経営への影響を考慮すると、今後の政局を注意深く見守る必要があります。

寄稿

アイルランド・イギリスの医療制度に触れて

協会　理事
特定医療法人共生会
みどりの風　南知多病院
理事長　田中　毅

令和６年９月末、私はアイルランドの首都ダブリンやスコットランドの首都エディンバラ、地方都市であるインヴァネスなど英国を旅してきた。その中で、イギリスの国民保健サービス NHS（National Health Service）について少し触れてみたい。

イギリスは「グレートブリテン及び北アイルランド連合王国」と呼ばれ、イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドの４つの国が、単一主権国家を形成している。2020 年 1 月 31 日まで EU に加盟していたが離脱した。一方でアイルランド共和国は、同じアイルランド島にある北アイルランドとは異なり、いわゆるイギリスとは別の国家で EU に加盟している。

まずはアイルランド共和国の首都ダブリンへ。中部国際空港から成田とアムステルダムを経由して、現地時間の夜 12 時ごろダブリンに到着。自宅を出て 26 時間あまり。旅慣れしていない私にとってすでになかなかの疲労困憊。

ダブリン都市部の人口は約 110 万人。アイルランド人口の約 45%が集中している。人口は急速に拡大しており、全住民の年齢中央値も 40 歳前後と若い。1990 年代に入り IT や金融産業などによる急激な経済成長が起こり、人口増加が今も続いている。一方でアイルランドの医療制度は国営保険サービス「HSE」（Health Service Executive）とプライベート（Private）保険の２種類。国民が医療機関にかかる時は、まず、かかりつけ医である「GP」（General Practitioner）を受診する。救急車が必要など、緊急的に医療が必要な場合を除き、紹介状なしで病院の診察を受ける場合は初診料として約 200 ユーロ（約３万円）ぐらいかかるそう。公的病院へのアクセスは非常に混雑しており、命にかかわらない専門的な手術を受ける場合は数年待つこともあるそうだ。

２か国目はスコットランドへ。最初に訪れた都市はエディンバラ。この町の人口は約 48 万人。スコットランドの東側、フォース湾に面し、この素晴らしい町並みは、ユネスコ世界遺産に登録されている。８ 歳になる娘の影響で映画「ハリーポッター」を全話、何度も観ている私としては、映画のモデルとなったエディンバラ城などの壮観なる町並みは娘へ

の良いお土産話になった。翌日にはインヴァネスへ車で移動。インヴァネスは北緯 57 度付近に位置し、夏場でも最高気温が 20℃を超すことは少ないそうだ。当日は最低気温が 9℃と肌寒く、日本の酷暑を忘れることができた。スコットランドの面積は 78.722 ㎢で北海道とほぼ同じ大きさ。広大な土地であり、日本とは異なり医療へのアクセスはスムーズでないことをお聞きした。インヴァネスがあるハイランド地方には総合病院は少なく、一番遠いところでは救急車で４時間ほど走らなければならないそうだ。そのため、病院の駐車場にはヘリポートが備えられていた。また、救急車で到着しても命にかかわる疾患でない場合は待合室で数時間待機を強いられることもあるそうだ。

『エディンバラの街並み』

イギリスの医療制度である NHS では、患者さんは基本的に窓口負担や保険料の負担はない。また、財源はほぼ税金で賄われ、病院は国立病院が運営している。日本の医療制度の特徴である、国民皆保険・フリーアクセス・開業の自由とは異なる医療制度で、特に病院までのアクセスについては日本に比べ制限があるのが実情だった。

日本の医療提供体制について課題が指摘されることもあるが、保険証があれば誰でも・いつでも・どこでも医療が受けられることが、国際的には当たり前でないことや、いかに日本の医療制度が優れているかを実感した旅となった。

I 週間という短い旅だったが、異国の文化や食事に触れ、NHS 制度についてもお話を聞くことができた貴重な体験で、あわただしく毎日を過ごしている私にとって、とても有意義な時間であった。

『イギリスと言えばフィッシュ＆チップス』

寄稿

防災対策について

協会　事務部会　副部会長
医療法人済衆館　済衆館病院
事務部長　丹羽孝司

災害大国と言われる日本で、いつ災害が起きても不思議ではありません。

一言に災害と言っても、度々起こる大地震に留まらず、最近では台風や豪雨などの災害も増加傾向にあり、私たちの日常生活は常に災害の危険と隣り合わせになっています。

防災の基本である、

① 自助（自分の命は自分で守る）

② 共助（地域・職場で助け合い、被害拡大を防ぐ）

③ 協働（住民・企業・自治体・防災機関等が協力して活動する）の中で、自助・共助についてあらためて少し考えてみました。

自助については、

・いのちを守る（応急手当等）

・平常時対策（家族防災会議　備蓄　損害保険等）

・住宅の耐震化（耐震補強　家具固定等）

・個人の災害時発生時対応（身の安全　安否確認　避難などの要領等）があります。

防災用品備蓄や家具固定などは特に意識し対応している方が多いですが、最近特に線状降水帯等による水害が多く、命を守る避難行動の一助となるマイ・タイムラインの作成の必要性を痛感します。市町村が公表している洪水ハザードマップを確認し、大雨によって河川の水位が上昇する時に、自らの洪水リスクを知って避難行動計画を作成するものです。国土交通省からも作成ガイドが公表されていますが、私は防災速報アプリの防災タイムライン（基本は住所地を入力すれば、想定危険度のチェック、行動確認タイミングも表示される）を活用しています。

共助については、

・地域の防災活動（自主防災組織　学校での防災教育訓練　地区防災計画　事業所防災計画等）

・避難所（開設運営要領　物資調達分配　在宅避難等）

・SDGs の理念　要配慮者支援

・被災地支援　災害ボランティアがあります。

この中で企業（医療機関）が取り組む役割は、「生命の安全確保」、「二次災害の防止」、「事業の継続」、「地域貢献　地域との共生」ですので、BCP の策定・運用、防災体制の整

備、防災訓練の実施、建物の耐震化等を見直し継続的に実施する必要があります。

当院では、井戸施設（2 か所）や自家発電装置の増設や燃料確保対策をできる範囲で行っています。また、災害時初期対応訓練を、平成 22 年より毎年行っていました。令和 2 年よりコロナ禍により中止となっていましたが、今年度はエマルゴトレーニング（災害対応机上訓練）を 11 月に行う予定です。

市町村の地域防災計画（地震災害対策・風水害対策・原子力災害対策）は、愛知県地域防災計画を基本として毎年修正されていますので、関係市町村の防災計画を一度確認することをお勧めします。

最後に「自分の命は自分で守る」を基本として、まずは身の回りのできる対策から行うことが重要です。余談ですが、私の通勤リュックの中には、非常食・携帯ミニトイレ・モバイルバッテリー・水分等を常備し通勤途上等で何かあっても 1 日位は何とかなるようにしています。

寄稿

法人理念
「優しい医療・楽しい職場」を求めて

協会　事務部会　委員
特定医療法人共和会　共和病院
事務部長　壱岐　円

当院では地域に開かれた精神科病院を目指し、いろいろな地域交流に取り組んでおります。夏の盆踊り大会に加え、開院間もない頃には患者様と職員が一緒になって秋の運動会が開催されていたそうです。病院の建て替え等の都合で、長らく秋の運動会はやっておりませんでしたが、2006 年に秋の文化祭「てんてん祭り」として復活しました。また、12 月にはクリスマス会、餅つき大会があり、入院患者様にとっては、季節行事としていつも待ち遠しいイベントとなっておりました。当法人の理念である「優しい医療・楽しい職場」が一つの形になった物だと思っております。

しかし、2019 年の新型コロナウイルス感染症にてそれまで当たり前に行えていた事が出来なくなり、これら行事も全て中止となりました。

やっと昨年から徐々に地域の方をお迎えしての行事が行えるようになりました。3 月の研究発表会、7 月の盆踊り大会、10 月のてんてん祭り、11 月の地域フォーラムと開催する事が出来、それぞれ実行委員の職員達は久しぶりの開催で、数年前の議事録と記憶を頼りに本当に頑張って開催してくれました。特に、夏の盆踊り大会は数年ぶりの開催であったため、患者様たちが楽しそうに踊りの輪に加わる姿や職員が車いすを押しながら踊りの輪に加わる姿、またストレッチャーが並んで横で寄り添う職員の姿など会場全体に笑顔あふれる盆踊り大会となり、参加するすべての人が本当に楽しそうにしていたのが印象的でした。今年も同様に新型コロナ感染症が気になり始めた時期ではありましたが、何とか無事開催する事が出来ました。ただ、近年の気候変動の影響で今度は 35 度を超える猛暑日という今までに無かった別の心配が出てきております。数年前の当たり前が、当たり前ではなくなっている事を痛感いたします。

そう思うと、病院運営も働き方改革に始まり、診療報酬改定ではベースアップ評価料なる物が出来、まさにVUCAの時代、先がどうなるか分からない時代となって来ております。

現職となり４年目を迎えますが、まだまだ不慣れな事が多く日々業務をこなすのに手一杯が正直なところです。元来の「まあ、いいか」の性格を抑え込みつつ「本当にそれでいいか」に変え、病院に関わる全ての方が「優しい医療・楽しい職場」を感じられる組織になるようこれからも奮闘したいと思います。

寄稿

ただの不注意と言えばそれまで「あたり前の気づき」

協会　事務部会　委員
医療法人杏園会
熱田リハビリテーション病院
事務部長　桐山順三

普段、電車やバス、飛行機等を利用している方も多いかと思います。その中にはさまざまな音があふれています。人の話し声、車体や機体の揺れる音、そして車内や機内、駅構内や空港内で流れるアナウンス。アナウンスはいつも決まって流れるものですが、このアナウンスに普段どれだけ意識を向けているでしょうか。例えば、駅の構内では毎日何かしらの協力を求めるアナウンスが流れています。しかし多くの人が行き交う中ではその言葉ひとつひとつを正確にハッキリと聞き取ることはできません。その一方で、何を訴えているのかある程度の内容は想像し理解できているかと思います。

「リュックは他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願いいたします」
「熱中症対策として水分補給は忘れないようにしましょう」
「離陸前に、非常用設備案内 VTR と安全のしおりを必ずご覧ください」
「離陸、着陸の際は座席のリクライニングとテーブルを元の位置にお戻しください」

実は先日、私はこのような経験をしました。

仕事帰りの通勤時に、いつも利用している地下鉄から降り、いつも通り改札へ向かって階段を下りていたときのことでした。携帯に入れてある定期券（IC カード）をポケットから取り出し、その後、受信したメールを読みながら階段を下りていた時、最後の 2、3 段分を踏み外してしまいました。目をつぶってでも下りられると言っても過言ではないくらいに慣れているいつもの階段のはずでした。通勤時間帯でもありましたので、後ろから私のように自宅に帰る多くの人が階段を下りてきます。私はできるだけ何事もなかったかのように振る舞い、立ち上がって改札を出ました。その時点で既にかなりの痛みがあり、改札を出たすぐのところにある階段もかなり無理をしながらどうにか下りました。お察しの通り、私は足を捻挫していました。骨折には至らなかったことが不幸中の幸いです。

痛い思いをした後、私はふと「ながらスマホ」について注意喚起するアナウンスを最近どこかで聞いたばかりだと思い出しました。

「駅構内で歩きながらのスマートフォン・携帯電話・ゲーム機等の使用は、列車との接触、ホームからの転落、周囲のお客様との衝突等につながる恐れがありますので、ご遠慮ください」

こうやって言葉にしてみると当たり前のことですが、とても重要なことです。本来であれば「とても重要な何かを発信しているはずなのに、聞き手はいつものアナウンスだと聞き流してしまっている」のです。これはきっと私だけではないはずです。私を含めて、その場にいる人たち全員が同じなのではないでしょうか？不注意だと言ってしまえばそれまでです。

だからと言って常に聞き耳を立てて、気を張っていなければいけないというわけではありません。ただ私たちはもっと日常生活の中で意識を向けなければいけないのではないかと思います。何気ないアナウンスにも耳を傾け、いろいろな人や物事に配慮しながら過ごしたいものだと「当たり前の気づき」を得られた経験でした。

寄稿

病院機能が変わる！ 看護部も頑張っています。

協会　看護部会　副部会長
社会医療法人大雄会
大雄会第一病院
看護部長　清水輝子

社会医療法人大雄会は 2024 年 9 月 28 日　創立 100 年を迎えました。100 年目という節目の前後で、これからの地域医療を見据え、大雄会第一病院は、急性期医療を維持しつつ、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟を持つ亜急性期病院とし 2025 年に生まれ変わります。そのため一年前から病院では、毎日のようにあちらこちらで工事が行われ「トントン・カンカン」「ガー」という大きな音がして時折会話が聞き取れない時もあります。また、病院では見なれないヘルメットを被った服装の方々が大勢出入りされ、大きな荷物を患者さんや職員に配慮しながら運び作業が進められています。そして徐々に新しい病院へと生まれ変わりつつあります。狭かった病室は、広々と明るく生まれかわり高齢者に配慮された療養環境となり、機械浴やリハビリ室なども新しく設置されました。スタッフが集う場所は、ナースステーションの看板が外され多職種が集うスタッフステーションとして整備され、自分たちで新しい病院を作り上げる「わくわく感」にも誘われています。

しかし、どんどんハード面の改装が進む中、看護師からは、「少ない看護師で仕事をするの」、「地域包括ケアシステムって何すればいいの」など不安の声が上がるようになってきました。主な病棟看護師は在宅医療や在宅看護の経験がほとんどなく、看護部内での研修で学ぶだけに留まっており、知る機会が少ないからです。私を含め看護管理者も、急性期看護一筋だった背景もあります。そこで、転換期にあたって急性期病院の業務だけでは在宅の視点を養うことは難しいと考え、新たな機能病床や地域の動向について看護師教育を開始しました。

まずは、看護管理者が変わらなければ現場は変わらないと考え、看護管理者の意識改革と地域を知る目的で、短期施設体験や訪問看護ステーション研修など在宅看護を学ぶ機会を提供しました。看護師長は「在宅領域でできる事が増えていることに驚いた」、「介護保険制度について学ぶ必要がある」など様々な気づきがあり、そこから、意思決定支援や退院支援など自らスタッフと関わるようになりました。病棟スタッフは、地域包括ケア病棟の役割や理解、具体的にイメージが付きやすいように施設見学や、これまでに受け入れなかった疾患や高齢者に特徴的な看護を学ぶ機会を提供し、適切なケアが提供できるように準

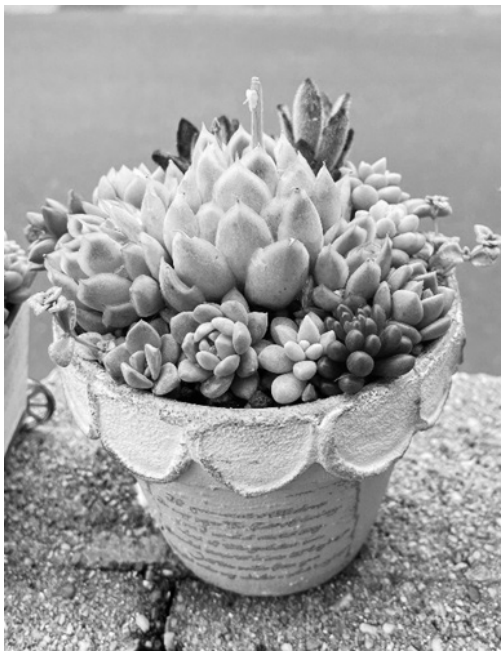
備しました。
また、当院に新設された総合診療科の存在は大きいです。毎週多職種でカンファレンスを行い、ケースごとに患者の思いや在宅につなぐための課題を話し合い、地域サービスや在宅医療についての学びも深まっています。それぞれの専門性を理解したうえでケアなど方向性を決めていく意見交換は、医療・福祉の知識だけでなく、コミュニケーション力や調整力も育むことにも繋がっています。改装工事が済んだ病棟では、新たなメンバーも加わり多職種で様々な工夫をしながら、日々看護が実践され始めました。

まだまだ改修工事は 2025 年末まで続きます。その時までに、病棟スタッフが患者の取り巻く地域環境や地域サービスを理解し、地域で生活する人としての視点を持ち看護が提供できる看護部としてスタートさせたいと考えています。そして私自身は看護管理者として、高齢者に柔軟な対応ができ、その人らしさを支えられる看護師の育成をすることが使命だと思っています。
治し支え、そして地域に求められる機能を担う病院として生まれ変わり、地域医療と介護をつなぐ新たな拠点病院となるまで・・・この取り組みは続きます。今後の大雄会看護部にご期待ください。

寄稿

素敵な趣味との出会いに感謝

協会　看護部会　委員
医療法人珪山会　鵜飼病院
看護部長　阪口浩美



私が多肉植物と出会ったのは３年前の春。

近所のお庭の草取りをお手伝いしていた時に、ふとお隣のお庭を覗いたらこれまでに見たことのない植物が沢山。そのお庭の持ち主に案内していただき素敵なお庭を拝見させて頂きました。そして、葉っぱ１枚から根と芽が出てきてきれいな多肉植物になるのだとか・・・生命力の強さに感銘しました。種類も沢山あり丸い形のものから細長い木のようなもの、色も緑色からピンクや赤い色のものなど初めて見る多肉植物に一気に心奪われてしまいました。そしてそのお庭の持ち主は色々な種類の多肉植物を寄せ植えにしたり、多肉植物を入れる鉢を手作りしてマルシェなどで販売もしているとの事。早速、イベントの開催情報を教えていただき参加しました。

そこからどんどんと多肉沼（多肉植物愛好家ではこういう状態のことを多肉沼と表現している）に、はまって行きました。

先ずは、欲しい多肉植物があるとネットでポチっと購入、ホームセンターや花屋さんを覗く回数も増え、多肉植物はどんどん増えていきます。イベントがあると聞けば車を走らせ三重県や岐阜県まで出向くことも・・・

また、育成方法や土の配合、管理方法は YouTube でひたすら勉強。

あれよあれよと言う間に増えていき、今では名前のある多肉植物が 300 鉢程度になってしまい置き場所の問題も・・・（基本的には直射日光の当たる所で水やりもコントロールが必要なため屋根付きのところで管理）

そして、今では葉挿しで増やした多肉植物を使って寄せ植え制作に励んでいます。可愛くできた寄せ植えは趣味の押し売りで友達や近所の方にお裾分け。ちょっと喜んでいただけることが楽しくてまた増やしては寄せ植えしてお裾分けの繰り返しです。

そして多肉植物をきっかけに友達の輪も広がりました。これまでは同じ看護職の人との交流がほとんどでしたが、イベントでの WS（ワークショップ）で違う年齢層の方や仕事が違う人達ともお話をしながら寄せ植えをして楽しい時間を過ごしています。素敵な趣味との出会いに感謝です。

梅雨から真夏の管理は大変ですが、秋から春にかけての可愛い多肉植物に出会えるように管理に勤しんでいきます。

報告

第2回拡大理事会　レジュメ　【敬称略】

日時： 令和6年9月5日（木）14時30分～15時59分

場所： 愛知県医師会　仮事務所　5階　501会議室

＜協議事項＞

1	【分譲】業務協定の内容見直しのお願い	大和ハウス工業株式会社　取締役 常務執行役員　住宅事業本部　永瀬俊哉 営業推進部　上席執行役員　落合滋樹
2	塩野義製薬からの講演会後援依頼（仮）について	木村理事
	一般社団法人　愛知県医療法人協会 事業に関する内規 （主催・共催・後援・協賛）	事務局
3	愛知医科大学病院　ラピッドドクターカー更新に対するクラウドファンディング実施の会員周知について	今村会長
4	「病院機能評価受審支援セミナー」開催について、 当協会の担当者＜開会または閉会の挨拶＞	事務局
5	「令和6年度　第3回拡大理事会」及び「役員懇親会」の開催案について	事務局
6	令和7（2025）年度　定時総会等開催（案）について	事務局

＜報告事項＞

1	地域医療介護総合確保基金（介護分）を活用した介護従事者の確保に関する事業提案について（照会）	愛知県福祉局長
2	令和6年度在宅医療年間スケジュールについて（送付）	愛知県保健医療局健康医務部 医務課長
3	医療事故情報収集等事業「医療安全情報№212」の提供について（通知）	愛知県保健医療局長
	医療事故情報収集等事業「医療安全情報№213」の提供について（通知）	愛知県保健医療局長
4	地域医療介護総合確保基金の期間延長について（通知）	愛知県保健医療局長
5	愛知県救急医療施設整備費（施設・設備）補助金交付要綱の一部改正について（通知）	愛知県保健医療局長
6	病床整備に関する考え方について（通知）	愛知県保健医療局長

7	介護保険指定	介護保険指定事業者の指定について（通知）	愛知県福祉局長
		介護保険指定事業所の指定について（通知）	名古屋市健康福祉局長
		介護保険指定事業者の指定について（通知）	一宮市福祉部介護保険課長
		介護保険指定事業者の指定について（通知）	豊田市　福祉部　介護保険課長
8	会長・役員就任挨拶状について		名古屋市医師会 会長　山根則夫
9	医業経営セミナー　後援名義使用のご依頼		日本医業経営コンサルタント協会　愛知県支部 支部長　木村則広
10	愛知県医師会より推薦方依頼　一覧表		
	令和6年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦方依頼について		公益社団法人愛知県医師会 会長　柵木充明
11	令和6年度在宅医療連携拠点推進事業 量的調査に関するワーキングにおける助言協力者派遣のお願い		国立研究開発法人　国立長寿医療研究センター 理事長　荒井秀典
12	令和6年度　名古屋市における短期集中予防型訪問サービス（訪問型サービスC）について リハビリテーション専門職の派遣協力に関するお願い		公益社団法人愛知県理学療法士会 代表理事　三宅わか子

報告

第4回拡大常任理事会　レジュメ　【敬称略】

日時：令和6年10月3日（木）14時30分～15時52分

場所：愛知県医師会　仮事務所　5階　501会議室

＜協議事項＞

1	後援名義の使用について（依頼）	株式会社中日新聞社 代表取締役社長　大島宇一郎
2	「令和6年度　医療事故調査制度に関する研修会」への後援名義の使用について（ご依頼）	公益社団法人愛知県医師会 会長　柵木充明
	令和6年度　医療事故調査制度に関する研修会の開催について	公益社団法人愛知県医師会 会長　柵木充明
3	「保健・医療・福祉の連携強化に関するシンポジウム」後援名義の使用について（ご依頼）	公益社団法人愛知県医師会 会長　柵木充明
4	令和7（2025）年度　定時総会等　開催（案）について	事務局

＜報告事項＞

1		医療法人の設立及び合併認可について（通知）	愛知県保健医療局長
2		愛知県医療勤務環境改善支援センター運営協議会委員の推薦について（依頼）	愛知県保健医療局長
3		医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.214」の提供について（通知）	愛知県保健医療局 健康医務部医務課長
4	介護保険指定	介護保険指定事業者の指定について（通知）	愛知県福祉局長
		介護保険指定事業所の指定について（通知）	名古屋市健康福祉局長
5		2024年度藤田医科大学医学部5学年臨床実習「地域病院実習」について（報告）	藤田医科大学 医学部長　　岩田仲生 教務委員長　髙橋和男 地域病院実習責任者　石原　慎
6		愛知県医療法人協会との後援依頼および会員施設ご案内依頼	塩野義製薬株式会社 第三営業部長　勝間田将史
7		愛知県医師会　新築工事について	公益社団法人愛知県医師会

8	令和6年度　定時総会・愛知県医療法人連盟総会・記念講演会・懇親会収支報告について	事務局
9	「令和6年度　第3回拡大理事会」 及び「役員懇親会」開催概要について	事務局

報告

第１回事務部会研修会

報告者：協会　事務部会　委員
　　医療法人山武会　岡崎南病院　事務長　金田修一
日　時：令和６年８月22日（木）14時00分～16時00分
場　所：東邦ガス株式会社　プロ厨房オイシス
テーマ：診療酬改定から２か月を経て
講　師：株式会社スズケン　流通事業企画部　コンサルティング課　副部長　岡山幸司
参加者：52名

本研修会は、令和６年６月施行の「診療報酬改定から２か月を経て」についておこなわれました。医療機関と介護関係との連携や情報共有の大切さ。医療DXにてWebカンファレンスの実施可能、また、マイナ保険証の利用促進などから始まり、10月実施の選定療養、届出必要書類の経過措置期間等、診療報酬算定にあたり重要な講演でありました。

選定療養については院内のルールの設定、医師や事務からの患者様への説明、院内掲示やホームページの掲載、改定のつど制度の複雑さや経過措置に関する届出の提出期間の設定、医事課だけでは対応が難しくなり医療機関として多職種の連携のもと診療報酬改定に対応しなくてはならなくなっています。また、他の医療機関や介護施設との連携。

高齢化社会、労働者不足のなかどのように対応し運営を継続していくか、院内検討、患者様への説明、書類、掲示等業務負担も多く、きちんと解釈や制度を理解し２年後や４年後の先を見据えた改定対応の必要性を感じました。

研修の内容は以下の通りであった。(配布資料78ページ)
診療報酬改定から２か月を経て　（講師資料（株）スズケン作成資料より引用）

・４月改定、６月改定、更には10月にも一部薬剤負担導入
・トリプル改定 ① 協力医療機関と介護保険施設等との連携
・トリプル改定 ① 医療的ケア児（者）入院前支援加算の届出
・医療DX推進体制の評価。10月から点数・要件の見直し
・マイナ保険証利用率要件と段階的引き上げについて
・医療DX推進体制整備加算 R6.4.12疑義解釈その２より
・医療DX加算届出や利用率実績判断と点数算定について
・マイナ保険証利用促進集中取組月間（5～8月）の一時金
・オンライン資格確認　マイナ保険証の利用実績
・医療DX推進体制整備加算10月改定のその先に
・医療情報取得加算の12月改定について
・次回以降の改定財源の規模や割振りはどうなる？

・賃上げに向けた評価。ベースアップ評価料の仕組み等
・ベースアップ評価料届出状況（愛知県　R6.8.1 現在）
・医療機関等における賃上げの実施状況の把握について
・経産省「賃上げ促進税制」ご利用ガイドブックが 8／5 に
・10 月から始まる長期収載品の選定療養について
・対象外となる「医療上の必要性」「後発医薬品提供困難」
・自己注射や退院時処方の取り扱い、院内処方時の記録
・選定療養対象外とする場合にはレセプト理由記載を
・新設される「患者希望」欄の運用は慎重に
・公費負担により窓口負担がない患者も選定療養は対象
・患者負担の計算は複雑というか・・・。レセコンがやってくれるはず
・院内掲示、web 掲載（自院 HP がある場合）も必要
・入院料等に関する主な改定ポイント
・入院料通則の改定、経過措置あり、なしにも注意を
・適時調査実施要項　令和 6 年 6 月版が厚生労働省 HP に掲載
・入院料届出状況（愛知県　R6.8.1 現在）
・地域包括医療病棟、救急患者連携搬送料の届出は
・地ケアの救急搬送患者の受入れ。算定要件も再確認を
・急性期からのリハ・栄養・口腔管理の一体的取組
・疾患別リハビリに実施区分を創設したその先に
・経過措置期限まで 1 か月に。届出準備を
・重症度、医療・看護必要度（一般病棟用）殆ど見直しに
・短期滞在手術等基本料と看護必要度の関係
・DPC／PDPS の見直し。一般的が一般的ではなくなった
・地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料の見直し
・回復期リハビリテーション病棟入院料の見直し
・地ケア病棟・入管の実績要件見直しと経過措置
・回復期リハビリ病棟改定　GLIM・FIM・専従・評価見直し
・回復期リハビリテーション病棟　R6.3.28 疑義解釈その 1 より
・療養病棟　医療区分×医療区分×ADL 区分により
・中心静脈栄養・経腸栄養管理加算　疑義解釈 3.28、4.12、4.26 より
・バイオ後続品に関する入院料の加算新設
・妥結率の報告（200 床以上病院対象）　流通改善の取組
・妥結率の報告書 ① 医療用医薬品の取引の状況など
・妥結率の報告書 ② 流通改善の取組状況など
・感染対策向上加算も協定締結後の再届出を忘れずに
・外来感染対策向上加算　R6.3.28、4.12 疑義解釈より
・抗菌薬適正使用体制加算　R6.3.28、4.26 疑義解釈より
・介護保険施設等との感染対策連携は相互に要件追加
・特定疾患療養管理料改定と生活習慣病管理料（Ⅱ）新設

・療養計画書等のルール。交付サイクルを誤らないように
・生活習慣病管理料ⅠとⅡ、算定上の留意点など
・生活習慣病管理料ⅠとⅡの併算定可・不可比較
・ご参考～かかりつけ医機能が発揮される制度整備（医療法）①・②・③～
・ICT を活用した在宅患者情報の共有・活用への評価
・医療機関向け　セキュリティ教育支援ポータルサイト　厚生労働省　について

報告

第１回看護管理者育成研修会

報告者：協会　看護部会　委員
　　医療法人生寿会　かわな病院　法人看護部長　原田あや子
日　時：令和６年６月25日（火）10時00分～16時00分
場　所：公益社団法人愛知県医師会　仮事務所　５階　501会議室
テーマ：① 激変する医療・介護業界のねらい
　　② 看護管理者としての接遇
　　③ 小論文のお作法とコツ
講　師：① 愛生館グループ　代表　小林清彦
　　② 愛知県医療法人協会　事務局長　久野桂子
　　③ 愛知県医療法人協会　研修事業部　目野千束
参加者：28名

＜研修のねらい＞
① これからの医療・介護情勢の中で看護管理者に求められることを学ぶ
② 接遇の意味を確認し、看護管理者としての立居振舞の重要性を理解する
③ 小論文の基本的な構成、ルール、注意点などを理解する

＜研修内容＞
　研修事業部の水野寿美子氏の司会で、「はじめの一歩」の成り立ちや受講者に望む姿勢等を優しく語りかけられた後、看護部会長の木俣孝章氏より挨拶を頂き研修がスタートした。

① 愛生館グループ代表　小林清彦氏より「激変する医療・介護・福祉業界」をテーマに講義を頂いた。社会変化の動向として日本人口構造の変化、2040年に向けた医療介護需要の変化、働き手問題、死生観・平均寿命の変化等々、多岐にわたる説明があった。
・人口減少と共に後期高齢者の人口は増加していく
・外来需要 ⇒ 既に減少局面にある医療圏が多い
・入院需要 ⇒ 2035年までにピークをむかえ減少していく
・在宅需要 ⇒ 2040年以降にピークをむかえ減少していく
今後、医療と介護の複合ニーズが一層高まっていくだろうとの見解であった。
またVUCA時代（絶えず変化している世の中）の変化に対応する能力（情報処理能力・論理的思考力・行動力）が重要であることを強調された。「今の常識は未来の非常識」10年後の自分自身を想像し、そのために今の自分がどう行動していくのか、時代に合わせて絶えず考えていくことが必要である。
更に働きがいのある職場環境にしていくために、役職の立場になって見えてきたものを一般職員にわかるように橋渡しをしていく。そのためには自身が組織をよりよく知り理解で

きるように伝えていくことが大切である。
最後に自分１人では限りがあり、自分の代わりにやれる人、任せる人を作ることが重要であることを述べられ、締めくくられた。

② 当協会　事務局長の久野桂子より「看護管理者としての接遇」「立ち居振る舞い５つの基本」をテーマに講義を頂いた。「わかる」は「できる」ではなくトレーニングを続けて習慣実践することである。また相手を認め、認めてもらうためのコミュニケーションが如何に重要かを・身だしなみ・表情・挨拶・姿勢と態度・言葉遣いを基本にご指導頂いた。
受講者全員が実際に立ってお互いに挨拶したり、じゃんけんゲームを行ったりと実践を交えた講義となった。

③ 研修事業部の目野千束氏より受講者自身が作成した課題レポートを手元に準備し、「小論文のお作法とコツ」をテーマに講義を頂いた。
お作法１：文章の段落分け　◆ 序論　◆ 本論　◆ 結論
お作法２：段落の体裁
お作法３：１文について（構造、内容、長さ）
　　接続詞の例、文体、数字

＜感想＞
　研修初日、遅刻者もなく受講者全員出席し今年度第１回看護管理者育成研修会が開催された。午前中、社会変化の動向、激変する医療、介護、福祉業界の講義を受け、受講者が熱心に時折り頷きながら緊張感を持ち聴き入っている姿が印象的だった。
午後からの接遇の講義では、笑いが絶えず、緊張感がほぐれ受講者同士の距離も縮まったように感じた。これまでの受講者自身の接遇を振り返り、納得しながらあるべき姿、行動を習得できたのではないかと感じる。小論文のお作法では基本的な内容から詳細な注意点まで指導があり、とても理解しやすい内容であった。
　今回の研修でよく耳にしたフレーズが「わかる」⇒「できる」⇒「変わる」であったように感じる。この研修を重ねて受講者が自信をもって変わっていく姿に期待したい。

報告

第２回看護管理者育成研修会

報告者：協会　看護部会　委員
　　社会医療法人愛生会　総合上飯田第一病院　看護部長　鈴木久美子
日　時：令和６年７月２日（火）10時00分～16時00分
場　所：公益社団法人愛知県医師会　仮事務所　５階　501会議室
テーマ：看護管理の基本
講　師：中部大学　生命健康科学部　保健看護学科　准教授　早瀬　良
参加者：28名

＜研修のねらい＞
質の高い医療・看護を提供するために必要な看護管理の基本的知識と看護管理者の役割を学ぶ

＜研修内容＞
1．看護管理学とは
看護では患者をアセスメントするが、自分や集団に対しアセスメントしないことが多い。「個人」「対人関係」「集団」という様々なレベルの行動を管理することが、組織を管理する上で重要なことである。

2．行動を科学する
行動科学とは心の仕組みや働きを「科学的」に研究し、「人間」の心や行動を自然科学の研究原則にのっとって明らかにすることを目指している学問で、①「人間の行動」の説明・予測・制御を目指すこと、② 対医療者（同僚・上司・部下・他職種）との関係を円滑にすることを目指すことを目的とする。
行動は個人と状況（環境）により生じるため、行動の原因や意味を解釈する際、「こうだろう」と１つに決めつけるのではなく、２つ以上の複数の方向から解釈する習慣をつけることが必要である。

3．集団力学入門
　明確な目標を持ち、それを達成するために水平方向の分業と垂直方向の分業を行って、統合なされている集団が組織である。医療組織は、組織全体としてのまとまりに乏しく、各専門職集団が自律的に行動し、組織の成果である「サービス」は見えにくく、評価しにくいことが特徴である。医療組織の運営には、異なる職種との連携（役割分担と調整）が重要となる。
　強力な集団は成員それぞれの目標が似ていて矛盾がなく、個人の目標と集団の目標が類似していることであり、効果的な集団を作るためにはわかりやすくて魅力的な集団目標の

設定が必要である。その目標を設定するために、まずは自部署・スタッフの特性・特徴をアセスメントすること、知ることが重要であり、近づける、測定できる、現在より困難な集団目標を設定し、各スタッフが目標達成に少しでも関与できるように動機づける。

4．リーダーシップ入門

リーダーシップを身につける第一歩はリーダーシップの本質やリーダーが果たすべき役割を正しく知ることである。様々あるリーダーシップ論の中の一つ PM 理論は、目標達成を重視し対人関係には配慮しない行動パターンのＰ型と、目標達成や仕事面よりも人間関係、メンバーの感情の気配りに重点を置く行動パターンの M 型で、課題達成と人間関係づくりこの２つを意識し果たすことで効果的なリーダーシップとなる。そこに、将来的展望に立って集団の発展を実現していく働きかけの変革型リーダーシップを加えると、期待以上の成果を上げることが可能となる。

新しくリーダーになったら、そのチームの価値観を見極め、求められているものをメンバーに溶け込みながらアセスメントする。リーダーとしてのコミュニケーションは、積極的な雑談、話しかけづらくしない、仕事の進捗は期待をこめ確認することなどを意識し、部下を褒める・叱る場面では、褒め方・叱り方のポイントを押さえる。仕事でも人間関係でも周囲から信頼される行動を心がけ、チームメンバーの一員として認められたと感じてから、メンバーを巻き込んだ行動を起こす。効果的なリーダーシップを発揮するためには日々の努力が不可欠である。

＜感想＞

講義中の受講者の態度、反応は良く、複数回のグループワークでは、笑いや相槌、相手の意見に耳を傾け共感する場面などが印象的であり、この雰囲気が話しやすい環境となり、ほぼすべての受講者が活発に意見を出すことができていた。

最後に講師から、PM 理論の、P タイプか M タイプかまずは自分を知り、足りない方を意識した行動をとることや、管理者として近くにいるお手本となる人やロールモデルを見つけること、などの助言を頂き、管理者として自身のあるべき姿を考える機会になるのではないかと感じた。

報告

第３回看護管理者育成研修会

報告者：協会　看護部会　委員
　　医療法人さわらび会　福祉村病院　副総看護師長　海川みすず
日　時：令和６年８月28日（水）10時00分～16時00分
場　所：公益社団法人愛知県医師会　仮事務所　５階　501会議室
テーマ：人間関係論
講　師：AMBOS　代表　鈴木由子
参加者：28名

＜研修のねらい＞
集団と組織内における人と人との関係を理解し、看護管理に活かすことができる

＜研修内容＞
＊「ラボラトリー方式の体験学習」
グループにおいて、受講者自身の行動や関係性を素材にして、自分自身を深く見つめ直したり、他者との関係の持ち方を学ぶ
他者との関係を創り出しながら、自分自身のこと、人間関係そのものを“今ここ”の中のプロセスに気づきながら主体的に学習する

★ 実習 ①「チェックイン：自己紹介」1～2分／人
【ねらい】
・お互いに知り合い、この研修での学び合う仲間づくりをする
・今ここで起こっていることに気づく
（私の中で、相手の中で、私と相手との関係の中で、グループの中で）
グループで自己紹介後、自分がどんな体験をしたのか「行動」「思考」「感情」に分け、振り返り、グループで共有
自主的に３名の受講者が発表
★ 実習 ②「なぞのマラソンランナー」
【ねらい】
・ラボラトリー方式の体験学習を体験してみる
・一つの課題を達成するときに起こるグループ内の人間関係（グループ・プロセス）に気づく
・自分を含めたメンバーのグループの中での働きかけと影響関係に気づく
方法：それぞれに渡された絵カードから指定されたランナーを探す
実習 → 振り返り → 分かち合い → フィードバック
時間内に指定されたランナーを決定したグループ・・・5G（7G中）

正答を導き出せたグループ・・・3G（7G 中）
自分・グループメンバー、それぞれの課題の取り組みの様子について、振り返り、それぞれの言動がどう影響したかを確認した
口頭で具体的に伝えることの難しさ　等の意見が出た
★ 実習 ③「5 人のツアーガイド」
【ねらい】
・コンセンサス（全員の合意）による話し合いを通して、さまざまな意見や考えがあることを知り、自分の思いを伝えるとともに相手の思いや価値観を知り、受けとめる体験をする
・話し合いをする中で、グループ内で起こるグループ・プロセスに気づき、意識的に働きかける
方法：5 人中ひとりのツアーガイドをグループで選ぶ
各グループで、ガイドの優先順位を話し合いで決定し発表
いくつかのガイドが、同じ順位となっていたが、すべてが同じグループはなかった
個々の価値観・基準により優先順位が変わるため、順位について正答はない
メンバー全員の合意による順位となることが重要

＊「JOHARI の窓」「ギブの 4 つの懸念」
・〈自己開示〉と〈フィードバック〉を柔軟に行えるコミュニケーションを促進することによって、相互に信頼できる関係づくりができ、ありのままの自分を発見したり、新しい自分に出会ったりすることも可能になる
・組織の中で、どんな懸念があるのかを感じ、懸念の解消を進めることで、チームの成長・信頼関係が増し、生産性・創造性が高まる

＜感想＞
天候の不安もある中、欠席者もなく研修が行われた。
グループワークに時間が多く取られており、振り返り・分かち合いの時間で、自己理解・チームワークを発揮するための効果的なかかわり方について学ぶ機会になったと思う。
内容としても、ゲームの要素もあり、和やかな様子が多くみられた。
ほとんどのグループが、真剣に課題に取り組み積極的な意見交換をしていたが、研修内容とちがう話をしているグループもあり、管理者育成の研修に参加し、管理者になるという自覚を持つ必要があると感じた。

＜表紙掲載会員紹介＞

＊＊＊ 特定医療法人三仁会 ＊＊＊

表紙の施設名	春日井整形あさひ病院
理事長	前田健博
院　長	神谷光広
所在地	〒486-0819　春日井市下原町字村東 2090 番地
HP アドレス	https://med-sanjinkai.jp/asahi/
電話番号	0568-85-0077
FAX 番号	0568-85-8020
診療科目	一般整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、形成外科 麻酔科（ペインクリニック）、神経内科、内科、呼吸器内科 循環器内科、消化器内科
その他の 法人施設名	師勝整形外科、通所リハビリテーションぷらす、訪問看護ステーションぷらす、春日井市地域包括支援センター松原
ひと言 PR	当院は今年 1 月に介護部門が「三仁会ぷらす」として新施設に移転し、「あさひ病院」から「春日井整形あさひ病院」へ名称を変更しました。さらに、9 月には 43 年間続いた春日井整形外科を当院へ合併統合いたしました。 これにより、春日井整形外科の歴史と専門性を引き継ぎながら、夕方診療や土曜日診療も行う新たな診療体制を整え、より一貫した医療サービスの提供が可能となりました。増築と統合により、患者様により良い医療環境を提供します。 「患者さん本位の心のこもった医療」「信頼と安心の医療」「高度専門医療の提供」という基本理念のもと、整形外科とリハビリテーションの専門性を追求し、患者様の早期社会復帰と生活の質の向上を全面的にサポートしてまいります。

＜編集後記＞

2024 年はオリンピック開催年でした。パリでの開催はとてもおしゃれ感があり、開会式の演出も劇場型で素晴らしく、映画あるいはドラマのシーンを見ているように惹かれ、早朝から真剣に見ていました。

日本人選手の活躍は思いもよらないくらいの選手の頑張りから、多くのエネルギーをもらえたと思っています。金メダルの数も今までの獲得数よりもはるかに多く、メダルラッシュに日本中が沸いた８月だったと思います。熱い暑い夏を日本中で体感したのではないでしょうか。

また､野球に興味がない方々もLAドジャース大谷選手の活躍は知っていると思います。毎日、早朝の TV 報道で大活躍している姿をみては凄い、と歓心を得ます。天性の素質も当然ですが、健康管理をしながら十分なトレーニングなど努力も怠らない結果だと思います。

できることを成し遂げるために、いつも最善を尽くすことが必要であり、自分自身のモチベーションに繋がると思います。最善を尽くすことは容易ではないですが、心身共に健康であり日々目標に向かって努力し続けることを心がけていきたいものです。

年々、温暖化の影響により、世界中が気候変動に見舞われ、日本の夏も亜熱帯傾向の気候に変化しているのを感じます。猛暑を超えて、近年では酷暑と言われ、暑さに体調不良になる方が多かった夏でもあります。10 月に入ってもなお猛暑日が続きました。これまで日本の四季は冬・春・夏・秋でした。しかし、最近見たニュースでは、今後の日本は、夏が初夏・盛夏、猛暑の五季になるとのことでした。

世界中で気候変動によるさまざまな現象により災害も頻繁に起こっています。地震大国の日本では、お正月早々、石川県能登半島地震が発生、甚大な被害をもたらしました。また８月８日、宮崎県日向灘地震では南海トラフを想定させる地震も発生し、巨大地震への恐怖を感じました。しかし医療者の使命として、いざという時にこそ自分にとってできる最善の災害支援活動に参加しようと思っています。

熱く暑かった夏もようやく終わり、秋を迎えます。今年は紅葉の見ごろはいつ頃になるのか、楽しみです。

「熱く暑い夏、日本」
（C.N.）

〔編集発行所〕 **一般社団法人 愛知県医療法人協会**
〒455-0031
名古屋市港区千鳥一丁目13番22号
公益社団法人愛知県医師会 仮事務所 5階
TEL052-228-3540　FAX052-228-3541
E-mail：kyokai@a-iho.or.jp
URL http://www.a-iho.or.jp/
年間購読料／ 4,280円（消費税10％含）・年４回発行
（会員は会費の中に含まれています、送料共）
料金１部／ 1,070円（消費税10％含）
〔発　行　人〕 今村康宏
〔制　　作〕 小田印刷合資会社

一般社団法人愛知県医療法人協会　地域包括ケア委員会
第1回QOL研修会

頻尿ケアの達人をめざそう！

～基本と事例から考える　明日から実践できること～

2024年
12/12(木)
14:00～16:30

会　場

ウインクあいち　12階　1203会議室
〈愛知県産業労働センター〉
名古屋市中村区名駅4丁目4-38

講　師

コンチネンスジャパン株式会社
専務取締役
日本コンチネンス協会
名誉会長

西村かおる

プログラム

14:00　開始

演題
頻尿ケアの達人をめざそう！
～基本と事例から考える
明日から実践できること～

1．正常な排尿と頻尿
2．頻尿の原因と対処
3．排尿日誌から考える頻尿
4．事例から考える頻尿対策

16:30　終了

進行は変更することがございます

参加費（税込）

主催/共催	会員１名	5,500円
後援団体	会員１名	6,600円
会員外	１名	7,700円

主催　愛知県医療法人協会
共催　日本医療法人協会愛知県支部
後援予定　愛知県病院協会
愛知県精神科病院協会

お問合せ

主催　愛知県医療法人協会　事務局
052-228-3540

感染対策により集合開催が難しく、開催ができなかった西村かおる先生の研修会を
今年度は開催いたします
開催へ多くの方からご要望をいただいておりました　是非お早めにお申込みください

参加対象

医療、介護に携わる方・・・職種を問わず

定　員

８０名

申込期限

２０２４年１１月２９日（金）
但し、定員になり次第申込受付を終了します

申込方法

こちらからも
お申込みいただけます

愛知県医療法人協会　ホームページ

https://www.a-iho.or.jp/

→研修のご案内

→該当研修を選択

→参加申込フォームに必要事項を入力

→送信

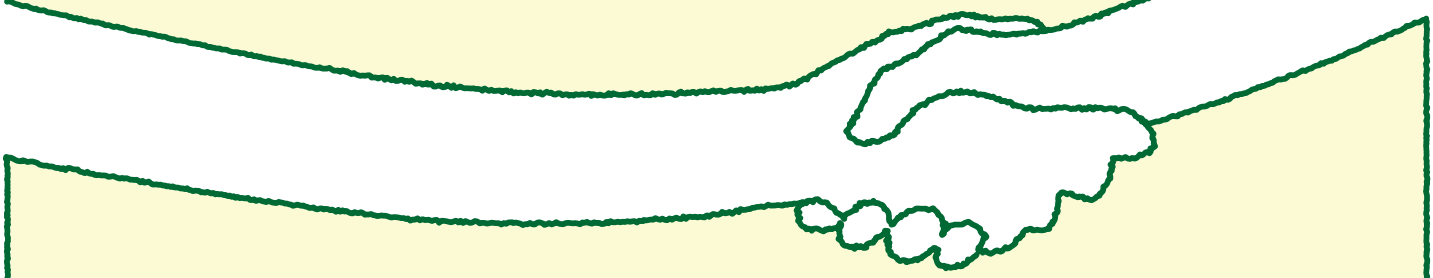
お申込受付後【申込確認書】を２０２４年１１月１８日（月）以降
順次メール送信します

以下をご了承の上お申込みください

１．参加費は事前にお振込みいただきます
（詳細は【申込確認書】に記載します）

２．開催可能人数に達しない場合、開催できないことがございます

エフケイは、
医療法人のサポート企業です。
複数の情報からコストとパフォーマンスを
同時にご検討いただけるよう、
私たちがサポートいたします。



取扱保険会社・協力会社

【生命保険】
アクサ生命　大同生命　エヌエヌ生命　メットライフ生命　オリックス生命　日本生命　ソニー生命　東京海上日動あんしん生命　SOMPOひまわり生命　三井住友海上あいおい生命　アフラック生命　ニッセイ・ウェルス生命　明治安田生命　ＦＷＤ生命　ＳＢＩ生命　マニュライフ生命　チューリッヒ生命　ジブラルタ生命　楽天生命　朝日生命　第一生命　富国生命　メディケア生命　ネオファースト生命　第一フロンティア生命　大樹生命　はなさく生命　なないろ生命　T&Dフィナンシャル

【損害保険】
損害保険ジャパン　三井住友海上火災　あいおいニッセイ同和損保　東京海上日動火災　セコム損保　AIG 損保　セゾン自動車火災保険　ニューインディア保険　アイペット損保　Chubb 損害保険　スター保険　ソニー損保　イーデザイン損保　ロイズ・ジャパン　キャピタル損害保険　共栄火災海上　日新火災海上　楽天損保

【少額短期保険】
さくら少短　ミカタ少短　トライアングル少短　SBI 日本少短　アイアル少短　ジック少短　エール少短　アシロ少短　DMM 少短

愛知県医療法人協会
集団扱割引
詳しくは協会ホームページまで。

【確定拠出年金　運営管理機関】
SBI ベネフィット・システムズ

【リース】
オリックスグループ　住友三井オートサービス

【福祉車両レンタル・販売・修理】
イフ・オートサービス　ファブリカコミュニケーションズ

【コンサルティング】
中小企業経営支援協議会　財務工房　エイチ＆リレーションズジャパン　トライリンク　日本 M&A センター

【会計・税務・相続・事業承継・M&A】
公認会計士・税理士 山田美典事務所　辻・本郷税理士法人　税理士法人山田＆パートナーズ　しんせい総合税理士法人　シンワ税理士法人　野田公認会計士事務所　野村会計事務所　税理士法人津田明人税理士事務所　雑賀公認会計士事務所　税理士法人江崎総合会計　税理士法人 Bricks&UK　朝日税理士法人

【労務】
オリンピア法律事務所　名古屋中央法律事務所

【Web サイト制作・グラフィックデザイン・会議運営・イベント】
トライリンク　スタックス

総合保険代理店
株式会社エフケイ www.efu-kei.co.jp
名古屋市中区丸の内 2-2-15 Tel 052-232-8484　医療法人担当：大須賀・山岡